

The
Rotary
Foundation



国際ロータリー 第2660地区
2015-16年度のための地区研修・協議会

ロータリー財団部門

財団の資金モデルと補助金モデル

地区ロータリー財団委員会
宮里 唯子（茨木西RC）

The
Rotary
Foundation



財団の資金モデル

財団の長期戦略

財団の目標は、これまでも、そして今後もプロジェクトに補助金を提供し続けることであり、不況に備えるための運営準備金を含め、堅固な財務基盤を維持することである

新資金モデルの目的

① 財団運営のための十分な資金確保

② 運営準備金



2015年：6,700万米ドル



収益の不調がプログラムや奉仕に

影響を与えない

2014-15年度までの資金モデル

年次基金の投資収益

恒久基金の投資収益

運営費
(寄付推進と管理運営)

新しい資金モデル (2015年7月～)

年次基金の投資収益

恒久基金の投資収益

年次基金寄付の5%

企業寄付の10%

GG補助金の現金拠出の5%

運営費

(寄付推進と管理運営)

寄付推進費と一般管理運営費

寄付推進費

- ＊②メジャードナー行事
- ＊②認証
- ＊②計画寄付や大口寄付の相談
- ＊②寄付者との関係構築や寄付選択のサポート

一般管理運営費

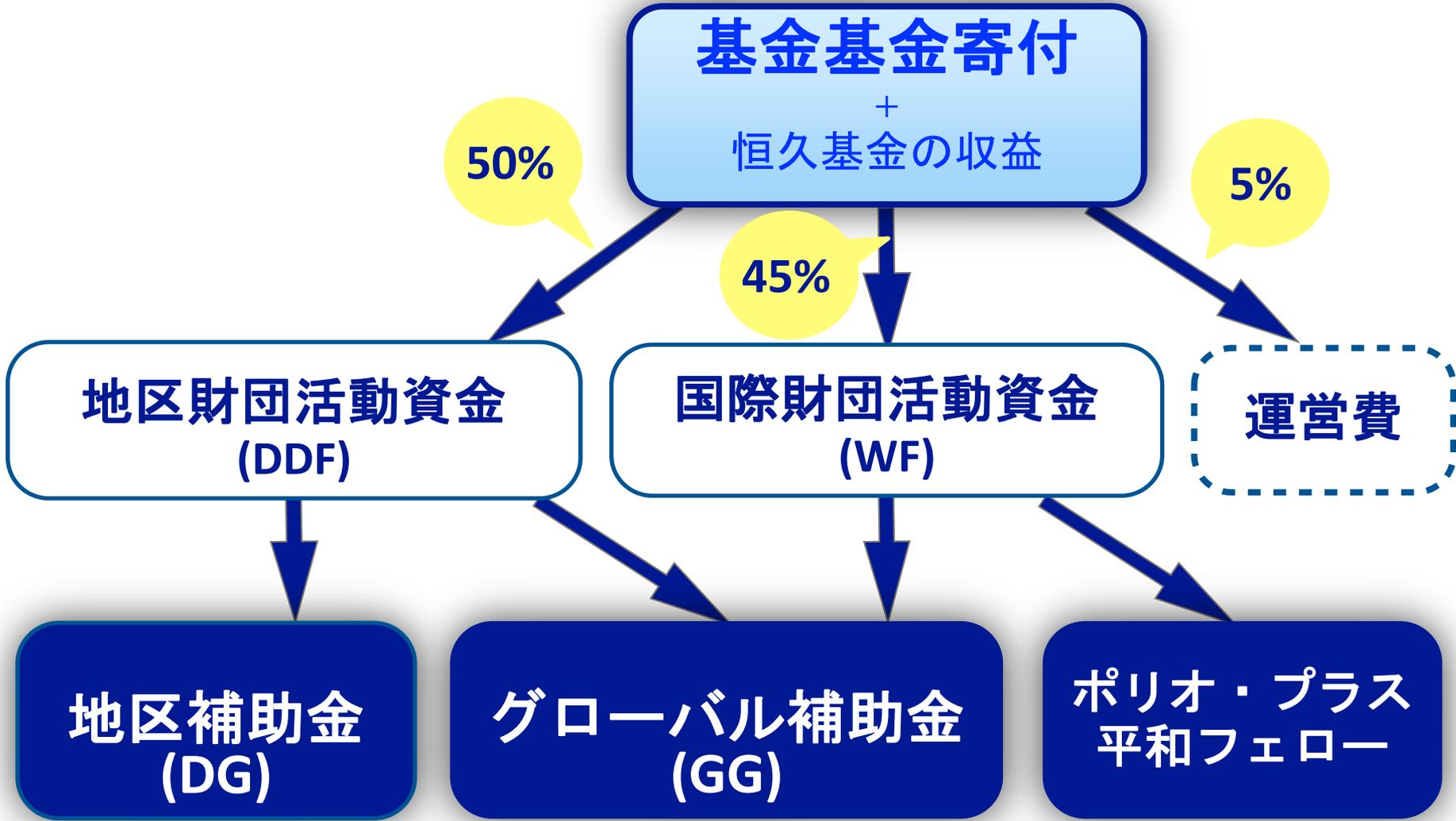
- ＊②コーポレート・ガバナンス
- ＊②現金を扱う際の手続き
- ＊②運営に必要な不可欠な諸々のコスト

新しい資金モデル

年次基金寄付の5%

- ➡ 必要がない限り、運営費に充当しない
 - 投資収益とGG補助金寄付の5%が運営費に十分な場合
 - 運営準備金が3年分の運営費（約6,700万ドル）
に達している場合
- ➡ DDFに影響はない（WFから差し引かれる）

財団のシェア・システム (投資収益が運営費を賄えない場合)



新しい資金モデル (2015年7月～)

企業寄付の10%

- ➡ ① 企業との交渉を通じて、ケースバイケース
- ➡ ① 大口寄付（500,000ドル以上）のみ
- ➡ ① ポリオ・プラス基金と恒久基金寄付、および
冠名指定寄付には適用せず

新しい資金モデル (2015年7月～)

グローバル補助金の現金寄付の5%

- ➡ 現金寄付の5% (事務手続き費用) を追加で支払う
(オンライン・システムの変更)
- ➡ 通過寄付のため、収益を生まない
- ➡ プロジェクト専用口座に直接送金の場合は不要
(税制上の優遇措置や認証ポイントの対象にはならない)

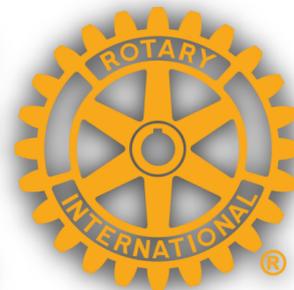
新資金モデルの仕組み

Step1 : 投資収益が運営費をまかなうのに十分か

Step2 : 運営準備金が3年分の運営費に達しているか

Step3 : 直前3年間の寄付の50% + 500万ドル相当の
WF残高があるか → 余剰金は恒久基金へ

The
Rotary
Foundation



財団の補助金モデル

財団補助金と活動

地区補助金
(DG)

グローバル補助金
(GG)

- ① 人道的プロジェクト
- ② 奨学金
- ③ 職業研修

財団補助金の特色と配分額

地区補助金(DG)

地元や海外における小規模・短期的活動

活動地	活動予算	クラブ拠出金	補助金
国内	40万円以上	申請額以上	20~60万円
海外			20~100万円

財団補助金の特色と配分額

グローバル補助金(GG)

【人道的奉仕活動】

6重点分野に該当する大規模な3ドル以上の国際的活動
成果が持続可能・測定可能
実施国と援助国が提唱するプロジェクト

【グローバル奨学生】

大学院レベルの留学

【職業研修チーム=VTT】

専門職業に係る研修を提供するチームを海外派遣

財団補助金の特色と配分額

グローバル補助金(GG)の資金調達

プロジェクトの種類	クラブの寄付	DDF	WF
人道奉仕	DDFの10%以上	代表提唱: \$20,000まで	\$15,000以上
職業研修 チーム		共同提唱: \$5,000まで	
奨学金	応相談		

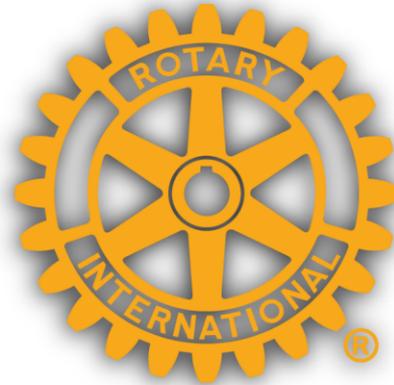
財団補助金の使用条件

参加資格の認定手続き

クラブ会長と会長エレクトが以下を行う

- ➡ ① クラブの覚書 (MOU) に同意する
- ➡ ② 地区財団補助金管理セミナーに会員が参加する
- ➡ ③ 地区が定めた要件を満たす

The
Rotary
Foundation



ご静聴、感謝申し上げます